

台鉄路線をほぼ完乗しました



正岡 利朗
(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

本誌の2023年10月号で、当方は台湾を出張で訪れた際の印象とともに、台湾が「退職後の海外旅行第一候補地」であると書き、その通り、この5月に5泊6日の日程で台湾に行ってまいりました。今回の目的は、単に「台湾鉄路（台鉄）の乗り鉄」で、台中を拠点にして、合計で台湾2周半程度の距離を乗りました。そこで、今回の話題は「台鉄乗車の印象」となります。

話の前提としての台湾島の大きさについては、九州島から佐賀・長崎県を除いた部分とほぼ同じとイメージすればよく、台北を福岡、台中を熊本、高雄を鹿児島、台東を宮崎、花蓮を大分あたりに置き換えれば都市の配置はわかりやすいと思われます。これらの都市を、台鉄の路線である西部幹線（基隆～枋寮、約460km）、南廻線（枋寮～台東、約100km）、東部幹線（台東～八堵、約320km）が環状に繋いでいるのです（なお、支線として平渓線、内湾線、集集線などがあります）。そして、日本のJRの状況とは大いに異なるのが、新幹線に例えられる「台湾高速鉄道（高鉄）」の開業後も、並行する西部幹線には多数の長大編成の特急列車が「台湾半周はアタリマエ」という長距離運用形態で運行されていることです。

乗り鉄のために今回使用するのは「台湾高鉄・台湾鉄道特級5日ジョイントパス」、台鉄は5日間、高鉄が2日間、特急列車を含めて乗り放題となる外国人向けの切符です。この切符は3,600元（2024年現在、1元≈¥5）と格安なのはありがたいのですが、泣きどころは、高鉄の方は日本でネット予約できるのに、台鉄の予約は、台湾入りした後の現地の駅窓口でしかできないことです。おかげで金土日曜では、予定していた列車がすでに満席で、スケジュール変更を余儀なくされたこともありました（台鉄の大半の特急列車は全席指定です）。

乗車した特急列車は、どれもほとんどの区間でほぼ9割程度の乗車率（例外的に平日の東部幹線、南廻線で5割程度）で、ビジネス用務よりも行楽・観光での利用が多数と見受けられました。この乗車率はJR各社の状況と比較すると盛況という他ありませんが、これでも以前よりは空いているらしく、このことには、近年の新型特急EMU3000型の投入による輸送力増強も要因の一つであるようです。ただし、個人的には、この新型特急の座席は薄っぺらで、長時間の乗車では腰や尻が痛くなり、座り心地は従来の客車タイプの車両の方がよほどよいと感じました。

車窓から見える景色は、混雑度も相まって、期待したほどではなかったです。大雑把に表現すると、西部幹線の大都市付近は高層ビルや集合住宅ばかり、郊外は工場や田んぼばかりでちっとも面白くなく、東部幹線は田んぼと畑、そして未利用地（ジャングル）、時々集落といった感じで、南廻線のみが海あり山ありで風光明媚という言葉に値します。ちなみに、4月の地震の影響は、花蓮付近で多少の徐行が

あった程度で、発生直後の日本での報道イメージほどではなく、花蓮駅も観光客でごった返していました。

台鉄有人駅の窓口営業時間は、多くの駅で6:00～24:00で、最近のJR各社とはえらい違いであり、各駅にも列車内にも職員が多数配置されており、情報を問合せるのに苦労はありません。経験した範囲では、まさに「住民のための鉄道」という好印象を持ったのですが、反面、さすがに職員数が多すぎるのでは、と懸念しました。帰国後に調べたら、案の定、かつての日本の国鉄のように近年の収支は大赤字で、その改革のために、この1月、政府運営の形態から公営企業に改変されたとのことです。

今回の昼食と夕食は、主に「台鉄弁当」を食しました。同弁当は80元とか100元で、コンビニでパンなどを買うよりはよほど安くておいしい食事になります。さらに、主要駅の改札口付近には、無料の給湯器が配置されており、飲み物もわざわざ買う必要がありません。このため、今回の乗り鉄はほとんどお金を遣わいで済んだのですが、さらに、台中駅付近でたまたま「華圓池上飯包」という店舗を見つけてティクアウトしたところ、同様な値段でこちらの方がよりおいしかったので、この類いの店は探せば、他にもいくつかあるのかもしれません。

最後に、乗り鉄の間、駅でも列車内でも、日本語は耳にせずじまいでした。往復の飛行機でも日本人は全体の1割以下で、宿泊したホテルでも日本人に会いませんでした。昨年の出張時でも同様な傾向にあり、つまり、現在の各観光地の賑わいは、外国人にあらず、台湾人が大半を担っているようです。我が国の観光地がインバウンド頼みになりつつあるとの対照的ですね。今回で台鉄全路線の93%を乗り潰したわけですが、残る区間はどうしましょうかね。



<https://taiwan.tabitabi-asia.com/> より引用。

中央会だより 1

令和6年度通常総会を開催

本会は6月20日、高松国際ホテル(高松市)において会員組合等の代表者ら84名並びに来賓多数のご出席のもと、令和6年度通常総会を開催しました。

提出議案は下記のとおりです。

役員改選では古川康造氏(香川県商店街振興組合連合会理事長)が新会長に選任されました。

- 第1号議案 令和5年度事業報告書並びに決算書承認の件（原案通り承認）
- 第2号議案 令和6年度事業計画（案）並びに収支予算書（案）承認の件（原案通り承認）
- 第3号議案 令和6年度会費承認の件（原案通り承認）
- 第4号議案 令和6年度借入金残高最高限度額承認の件（原案通り承認）
- 第5号議案 商工中金株式の購入の件（原案通り承認）
- 第6号議案 任期満了に伴う役員改選の件（次ページのとおり選任）

議案審議終了後、「平成6年から会長を務めてまいりましたが、本日の総会をもって退任させていただきます。これまで皆様方よりいただきましたご理解やご支援に対し、心より御礼申し上げます。今後は、現在の困難な状況に対処するため新会長のもと皆様が力を合わせて各種事業等に取り組んでいっていただきたいと思います」などと挨拶されました。

また、古川新会長より「国東前会長におかれましては、通算44年の長きにわたり、中央会の組織運営に寄与されましたことに心より敬意と謝意を表します。中小企業・小規模事業者の組織化の促進や共同事業の活性化をはじめ、中小企業の様々な課題に対して、引き続き支援体制を確立し、組合員企業の皆様のために最善を尽くして参ります」などと挨拶されました。

続いて来賓を代表して、香川県知事・池田豊人様、香川県議会議長・松原哲也様、四国経済産業局産業部長・田中伸彦様より祝辞をいただきました。

会場を移動して開催した懇親会では、商工組合中央金庫高松支店長・川上健太郎様の乾杯の発声により、和やかな雰囲気のもと会員等の交流が図られ、盛会のうちに終了しました。



▲挨拶をする国東前会長



▲会場の様子



▲古川新会長より就任挨拶



▲池田香川県知事



▲松原香川県議会議長



▲田中四国経済産業局産業部長

香川県中小企業団体中央会役員名簿

2024年6月20日

役職名	氏名	所属組合名	
会長	古川康造	香川県商店街振興組合連合会	新任
副会長	松永雪夫	香川県生コンクリート工業組合	
//	大峯茂樹	本場さぬきうどん協同組合	
//	三矢昌洋	香川県ホテル旅館生活衛生同業組合	
//	佐々木正富	建設協同組合高松総合センター	新任
専務理事	岡 興司	専 徒	
常任理事	楠井芳則	香川県縫製品工業協同組合	
//	中川悟	香川県管工事業協同組合連合会	
//	増田浩	瀬戸内食品加工協同組合	
//	斎藤孝	香川県建築設計協同組合	
//	川原陞	香川県美容業生活衛生同業組合	
//	岡 隆夫	香川県中古自動車販売商工組合	
//	真鍋道雄	香川県農機具商工業協同組合	新任
//	国東宣之	香川県石油商業組合	新任
//	二川隆一	香川県食肉事業協同組合連合会	新任
//	小竹和夫	香川県建築事業協同組合	新任
理事	楠木寿嗣	一般社団法人香川県トラック協会	
//	神原満	川重坂出事業協同組合	
//	辻村啓一	香川県碎石事業協同組合	
//	向井幸司	香川県自動車整備商工組合	
//	篠原公七	香川県火災共済協同組合	
//	貞野正昭	赤帽香川県軽自動車運送協同組合	
//	岩崎康誠	香川県タクシー協同組合	
//	白井正人	香川県家具商工業協同組合	
//	末包賀裕	香川県造園事業協同組合	
//	藤井武志	香川県室内装飾事業協同組合	
//	中谷明生	庵治石開発協同組合	
//	片岡伸介	香川県屋外広告美術協同組合	
//	伊藤雄二	小豆島手延素麺協同組合	
//	三好浩之	香川エルビーガスクリーン協同組合	
//	樋口高良	香川県臨海企業団地協同組合	
//	鎌田由美子	香川県食糧事業協同組合	
//	山下芳伸	香川県漆器工業協同組合	
//	佐藤佳生	香川県電気工事業工業組合	
//	棚次啓二	日本手袋工業組合	
//	大野英作	小豆島調理食品工業協同組合	
//	岩佐武彦	協同組合日專連高松	新任
//	木下敬三	香川県製粉製麵協同組合	新任
//	島 啓	香川県印刷工業組合	新任
//	吉田孝一	公益社団法人香川県宅地建物取引業協会	新任
//	味本圭祐	協同組合オリーブエコサービス	新任
//	木村典雄	中央会青年部会長	
監事	和泉一郎	仕出し協同組合スプリング	
//	上村芳久	四国鍍金工業組合	
//	近藤善和	国際経済交流協同組合	

会長1名、副会長4名、専務理事1名、常任理事10名、理事26名、監事3名(順不同・敬称略)

会長退任のご挨拶 第6代会長 国東照正



香川県中小企業団体中央会会長を退任するにあたりましてご挨拶申し上げます。

思えば、平成6年5月の通常総会におきまして、会員の皆様方のご推举を賜りまして、第6代会長にご選任いただきました。以来、今日まで30年間、この重責を大過なく務めさせていただくことができましたのも、ひとえに皆様方のご芳情とご指導の賜物と、深く感謝申し上げる次第でございます。

平成6年の就任時は、バブル経済崩壊後の景気低迷から、公共投資等の下支えにより緩やかながら回復の兆しが見え始めた中、円が1ドル100円を突破するなど超円高基調となり、景気の足を引っ張る結果となりました。その後も、平成7年には、阪神・淡路大震災の発生、平成9年には、アジア通貨危機が発生するなど、日本経済は厳しい環境が続きました。

さらに、グローバル化の進展、リーマンショックや東日本大震災の影響、コロナ禍による大きな打撃などもあり、この30年間は、中小企業にとっても様々な社会の変革への対応が求められる大変厳しい時期でありました。しかし、皆様のご理解やご協力により、様々な施策に取組み、数々のお手伝いができたものと考えております。

今般、私は退任致しますが、役員並びに会員組合の皆様方におかれましては、古川新会長を中心として、県内の中小企業並びに組合はもとより、本県経済の振興・発展のため、ご尽力いただきますよう、お願い申し上げる次第でございます。

最後になりますが、本会会員組合並びに組合員企業の限りないご発展をご祈念申し上げまして、私のご退任の挨拶とさせていただきます。

会長就任のご挨拶 第7代会長 古川康造



このたび、令和6年度の通常総会におきまして、会員の皆様方のご推举を賜り、香川県中小企業団体中央会第7代会長として、ご選任をいただきました古川でございます。

まずは、30年間の長きにわたり、中央会の発展のために先頭に立ってご尽力されてこられました国東前会長に対しまして、あらためて敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

今般、国東前会長の後継として、会長という重責を担うこととなり、光栄に感じる一方で、非常に身の引き締まる思いでございます。

もとより微力ではございますが、会長の任をお引き受けする以上は、本県中小企業並びに会員組合の振興・発展のため、全力を傾ける所存でございますので、皆様方のご支援・ご協力のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

中央会だより 2

令和6年度中小企業組合等課題対応支援事業のお知らせ

新たな活路の開拓、単独では解決困難な諸問題、その他中小企業の発展に寄与する取組について、支援を行います。

1. 中小企業組合等活路開拓事業

事業名	活路開拓事業	展示会等出展・開催
目的	専門家を招聘した委員会で検討を行い、市場調査、試作品の開発、ビジョンの策定、成果を発表するなどして、課題を解決、成果を共有する取組みを補助します。	国内外の展示会への出展や展示会の自主開催を補助します。(商品等の販売を伴う出展・開催は不可) ※バーチャル展示会への出展も補助対象(バーチャル展示会の開催は不可)となります。
取組内容の例	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員の意識や経営環境を調査したい ・他業界で成功している手法を学びたい ・共同施設のリニューアルの方向性や課題を考えたい ・厳しい環境規制に対応する方策を検討したい ・SDGsを学び業界を挙げて実践したい など 	<ul style="list-style-type: none"> ・進出していない地域で展示会を開催して販路拡大の可能性を調査したい ・バーチャル展示会に出展して幅広くニーズを把握したい ・海外の展示会に出展して海外取引拡大の足掛かりとしたい など
補助金額	大規模・高度型※:上限 2,000万円 通常型:上限 1,200万円 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">下限 100万円</div> <small>※大規模・高度型は、補助金申請予定額が1,200万円を超える事業終了後3年以内に売上高が10%以上増加することが見込まれるもの、または、コストが10%以上削減されることが見込まれるものに限ります。</small>	上限 1,200万円 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">下限なし</div>
補助率上限	6/10	

2. 組合等情報ネットワークシステム等開発事業

事業名	活路開拓事業	展示会等出展・開催
目的	組合等がシステム等の構築を目指して実施する、組合等の事業の業務分析、計画立案、RFP(提案依頼書)策定等を補助します。	組合等を基盤とした情報ネットワークシステムの構築や、組合員及び関連する中小企業の業務効率化のためのアプリケーションシステムの開発で、システムの設計、開発、稼働、運用テスト等や組合員等に対するシステム普及のための講習会の開催を補助します。
取組内容の例	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBシステムを活用した組合員間ネットワーク構築のための基本計画策定 ・災害等のリスク対応のための組合員の在庫・文書等管理システム整備のための研究 ・組合業務管理システムのクラウド化のための業務分析、調査研究 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員の発注業務効率化のためのメーカー・卸間のEDIシステムの開発 ・組合員のローコストオペレーションを可能にする店舗販売管理システムの開発と普及 ・WEBサイトを活用した組合員の取扱う製品の共同販売システムの構築 ・クラウドを活用した組合員の取扱う製品等の管理システムの構築 など
補助金額	大規模・高度型※:上限 2,000万円 通常型:上限 1,200万円 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">下限 100万円</div> <small>※大規模・高度型は、補助金申請予定額が1,200万円を超える事業終了後3年以内に売上高が10%以上増加することが見込まれるもの、または、コストが10%以上削減されることが見込まれるものに限ります。</small>	
補助率上限	6/10	

▶日程

公募期間	第3次募集
	7/8~8/9
応募内容に関する質問期間(書面)	8月下旬頃
審査結果公表	9月中旬頃
交付申請説明等	9月下旬~
事業開始(終了は翌年2月14日)	9月下旬~

○第2次募集において予算枠に達した場合、第3次募集は実施しません。

お問い合わせ先 香川県中小企業団体中央会 事業振興部
TEL.087-851-8311

※事業の詳細は、全国中小企業団体中央会ホームページ(<https://www.chuokai.or.jp/>)で確認できます。

中央会だより 3

雇用機会の確保・働き方改革の推進等に関する協力要請

6月3日、本会に対して、香川県知事、香川労働局長、香川県教育委員会教育長、四国経済産業局長の連名で、雇用機会の確保・働き方改革の推進等に関する協力要請が行われました。

要請は、本会を始め、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県経営者協会の商工4団体に対し、地域経済の持続的発展に向けた雇用対策を推進するためのもので、主な内容は以下のとおりです。

会員組合等におかれましては、傘下事業所に次の事項をご周知いただきますようご協力ををお願いいたします。

(1)雇用機会の確保について

- 初任給の引上げなど新規学卒者の採用に向けた取組みを行うこと
- 職業能力形成の機会に恵まれない若年無業者や、不本意ながら不安定な就業状態にある方の正社員としての雇用機会の確保を図ること
- 正社員採用にあたって、「多様な正社員」制度の導入、様々なニーズに対応した採用活動の実施、ウェブ面接などオンラインを活用した採用選考が実施できる環境整備を図り、学生等の興味の引くような効果的な情報発信に努めること



▲池田香川県知事より要請書を受け取る古川会長（左）

(2)働き方改革の推進について

- 賃上げに向けた適切な価格転嫁に取り組むための周知を行うこと
- 働き方改革関連法等の理解促進と着実な実施並びに働き方改革の推進について一層の周知、啓発等を行うこと

(3)多様な人材が活躍できる環境整備について

- 女性や高齢者、障害者等の活躍を促進すること
- 多様な人材の積極的な雇用と、活用のための環境整備について配意すること

(4)人材の育成・活性化について

- 県内企業の若手社員のキャリアアップのための研修など人材育成の機会を設けること
- 若手社員の職場への定着に向けた支援を行うこと
- 労働者のスキルアップのための自己啓発の機会の確保やリスキリング支援の強化などを積極的に行うこと

会員ニュース

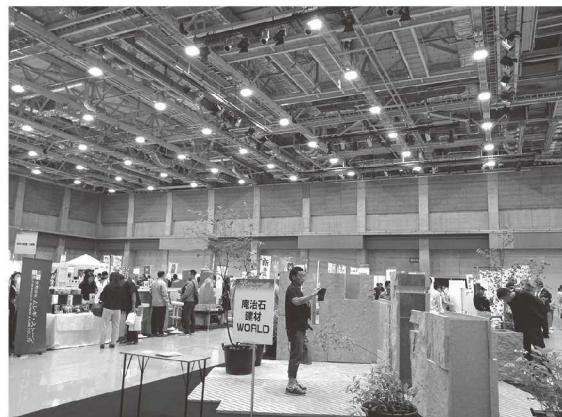
「あじストーンフェア2024」を開催

讃岐石材加工協同組合

6月8日、9日の2日間、サンメッセ香川（高松市）において、讃岐石材加工協同組合主催「あじストーンフェア2024」が開催されました。今回のテーマは「[Next Aji]-庵治産地が一番輝く日-」。高松市庵治・牟礼地区を中心に石材業者、加工メーカーなど106社が参加しました。

地元特産の庵治石でつくり上げた空間「庵治石建材WORLD」には、波紋が広がる様子を表現した装飾床や、壁と一緒にになった照明などがあり、来場者は興味深そうに見入っていました。

会場内では匠の技を駆使した墓石や灯籠、石彫品等の庵治石製品の展示販売の他、石材を使った子ども向けのワークショップやロックバランスング、庵治の大丁場採石場研修など多彩な催しが行われ、盛況の内に終了しました。



▲会場の様子

FROM青年部 1

第47回通常総会を開催

6月26日、第47回通常総会をリーガホテルゼスト高松（高松市）において会員43名の出席、また、四国経済産業局産業部長他ご来賓の方々にご臨席いただき開催しました。

本年度は、役員改選に伴う正副会長の交代があり、新会長に太田武志氏（庵治石開発協同組合）が就任されました。総会後の懇親会では、太田新会長より就任の挨拶や退任された役員からの挨拶、新役員の紹介、日本手袋工業組合より組合青年部活動のPRなど終始和やかな雰囲気のもと、情報交換とともに会員相互の親睦を深め、盛会のうちに終りました。



▲谷本副会長より総会開会挨拶



▲通常総会の様子



▲太田新会長より就任挨拶

香川県中小企業団体中央会青年部 正副会長名簿
(令和6年6月26日現在)

会長	太田 武志	（庵治石開発協同組合）
副会長	谷本 匡朗	（香川県鋼構造協同組合）
〃	植原 誠悟	（香川県造園事業協同組合）
〃	高橋 知己	（香川県室内装飾事業協同組合）
〃	平田 裕幸	（香川県テントシート工業組合）
〃	友澤 幹知	（高松市上下水道工事業協同組合）
〃	山下 晃弘	（香川県電気工事業工業組合）
〃	蓮井 行成	（建設協同組合高松総合センター）
〃	松永 恵理	（香川県生コンクリート工業組合）

会長1名、副会長8名（順不同・敬称略）

FROM青年部 2

2024年度全国中小企業青年中央会通常総会へ出席

6月21日、ホテルニューオータニ大阪（大阪府）において「2024年度全国中小企業青年中央会通常総会」が開催され、木村直前会長と太田会長が出席しました。

総会では2023年度事業報告、決算報告並びに2024年度事業計画、収支予算などの議案についての審議が行われ、全議案が満場一致で承認されました。その他、任期満了に伴う役員改選があり、木村直前会長が四国ブロック会長として全国中小企業青年中央会の理事に再任されました。

引き続き、万博セミナーとして「2025年大阪・関西万博の概要と進捗状況について」をテーマに公益社団法人2025年日本国際博覧会協会広報・プロモーション局・北川企画部長より説明があり、大阪・関西万博開幕に向けて更なる機運醸成を図るための協力要請がありました。

続いて各県の会長らによるUBAサミットが開催され、「事業継続活動を実際に考えてみよう!～あなたの会社の業務「属人化」していませんか～」をテーマに活発な議論が交わされました。



▲通常総会の様子



▲全国中小企業青年中央会新役員



▲UBAサミットの様子

本会青年部は、業種や団体の枠を超えた交流・連携に取り組み、中小企業並びに組合等の振興に寄与することを目的として各種事業活動を行っています。

組合青年部の組織化や他組合青年部との交流会開催希望等ありましたらご相談ください。

香川県中小企業団体中央会 事業振興部 / TEL.087-851-8311

● ● 情報連絡員レポート ● ●

インバウンドの増加等により景況感は改善したが、原料価格、エネルギー価格の高騰、人件費の上昇、円安等による物価高の影響で消費マインドが低下したことから売上高や収益DI値は悪化した。

2024年5月

製造業	食料品	<ul style="list-style-type: none"> ●人材不足が深刻な問題である。(惣菜) ●5月18日(土)、19日(日)に東京駒沢オリンピック公園で第5回「The 乾麺グランプリ2024 in Tokyo」が開催された。全国36のこだわりメニューが集結し、うどん部門で石丸製麺株式会社の「極上オリーブ豚とガーリック&チーズの全粒粉ぶっかけうどん」が部門賞を受賞した。(製粉製麺) ●組合員の出荷量推移は前月対比で104.9%、前年同月対比で108.3%(4月分)である。(調理食品) ●日本冷凍食品協会による3月の冷凍食品生産数量は前年同月比で100%となり、2022年8月以来19か月振りに前年実績割れを回避した。カテゴリー別ではフライ揚げ物類が88.5%、フライ類以外の調理食品が102.5%、菓子類が95.9%となり、生産数量が多いカテゴリーの増産が全体の底上げにつながった。業態別では市販用は97.9%だったが、業務用は外食や中食の伸張によって104.2%となった。これから夏に向かって電気料金単価が値上がりとなる。夏は冷凍食品メーカーにとって電力の最需要期と重なってくることから、様々な価格の高騰に加えてエネルギーコストの上昇を乗り越えていかなくてはならない。(冷凍食品)
	繊維工業	<ul style="list-style-type: none"> ●皮革・合成皮革手袋については上向く気配もなく弱含みは続いている。繊維製手袋についてはUVカットの商品中心の動きとして、価格帯は変わらずだが、他の低価格商品に押され気味の傾向は顕著になってきている。(手袋)
	木材・木製品	<ul style="list-style-type: none"> ●原材料価格がさらに値上がりする見込みである。価格転嫁も厳しい状況の中、製版とともに苦慮している。香川県産広葉樹を利用する「100% MADE IN SANUKI Project」の取り組みは自治体及びメディアからも注目されており、今後も注力していく。(家具) ●物価の上昇に伴い新築・リフォームの着工件数は減少している。よって木材製品の流通が悪化し、非常に厳しい状況である。(製材) ●輸出商品の梱包資材等の需要が増加しているが、住宅建築資材の需要が大幅に減少しているため全体の業況は低い水準の横ばい状態が続いている。(木材)
	印刷	<ul style="list-style-type: none"> ●4月と同様、動きは悪いままである。お客様からの新規印刷物はあるものの、売上げの数字を確保するだけの仕事量は戻っていない状況である。
	窯業・土石製品	<ul style="list-style-type: none"> ●産地全体的に状況は良くない。賃金のベースアップも行えない状況で、人材も離れていく。人が不足していることで、仕事も効率良く回せない。(石材加工)
	鉄鋼・金属製品	<ul style="list-style-type: none"> ●3ヶ月毎に材料の値段が上がり、販売価格に反映できない。(鋳物) ●2023年度の全国鉄骨総需要は、391万トン前年比9.4%減で14年ぶりの400万トン割れとなった。香川県においては、2万9千トン前年比35.5%減の大幅落ち込みとなった。しかし、組合全体としては県外物件受注増で県内需要の落ち込みをカバーし最小限に留める事ができた。今後についても、円安の影響・鋼材などの高騰、2024年問題などの不透明感が払拭できない中、不安定な状況が続くと予想される。(建設用金属)
	輸送用機器	<ul style="list-style-type: none"> ●前月同様に安定操業が続いている。業況に変化はない。(造船)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●大口案件の受注状況は僅かではあるが増加している。(団扇) ●円安が進み、また、政府の働き方改革により中小企業者の現状は生産性が低下している。5月は休日が多く生産が止まり悪化気味だった。(漆器) ●季節的要因で現在は布団の需要の少ない時期である。その上、コロナ後の回復の兆しが見えていない。(綿寝具)
非製造業	小売業	<ul style="list-style-type: none"> ●野菜の価格が高騰し、買い物控えが進んだ月であった。飲食店のインバウンドの売上も上がる中、ドタキャンが増えているようである。(青果物) ●ゴールデンウィークの販売量は昨年と比較して微増程度であり、期待したほどではなかった様である。激変緩和措置の継続が行われているが、具体的な期限や出口戦略等は、未だに示されていない。販売価格は今のところ安定しているが、円安等経済情勢が不安定なため、継続して注視する。県外安売り者や元売り直営SS等の影響により、周辺地域SSの収益を圧迫している。(石油) ●人員不足で組合組織が上手く回っていない。(電機)
	商店街	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年、今年と多くの企業で賃上げが行われ、今夏には定額減税が行われるもの、本年年初には感じなかつた消費環境の悪化をここにきて、ひしひしと感じさせられるようになった。年に何度も物やサービスの価格が上がり、その度に消費者は受け入れてきた。しかしながら物価、公共料金等の高騰は留まる所を知らず、もはや受け入れられる限度を超えてきたようにも思える。先の見通せない不安の中で多くの人が節約し、生活防衛に走らざるを得ない状況となっているものと思われる。コロナが5類に下がり1年が経過し、人流が増え、多くの内外の観光客で賑わいが戻る一方で、コロナ禍(巣ごもり需要や非接触といった特殊な環境を過ごした)を通じ、インターネットでの買い物やアプリでの支払い方法をそれまでは敬遠してきた方も馴染んでしまったことで、購買行動が変化し、特に高齢者層の外出や店舗でお買い物することの頻度や必要性が下がっているように思われ、高齢者層が顧客の店舗では数字の回復がより厳しく感じられる。3月に高松駅にオープンした商業施設のメッセージは限定的ではあるが一部の店舗(食品、雑貨、衣料品、飲食)で顧客の来店頻度が落ちたり、売上に影響が出ており、今夏位まではそれらが続くのではないかと懸念している。高松空港への国際便は新就航や増便が予定されており、インバウンド客は今後も増え続ける。高松へ来られるインバウンド客のお買い物や体験したい事の幅、品目の裾野が広がってきており、商店街としてもニーズ先となる店舗の応援をしていきたいと考えている。(高松市①) ●ゴールデンウィークに関しては前半4月の方が賑わっていたように思われる。5月に入って少し雰囲気が変わってきたと感じられた。インバウンド客は円安の影響からか以前のようにTAXfreeの要望は少なくなった。国内旅行者の買い物は控えられていると感じる。物価高騰が原因であるが、業界によっては高騰はまだこれからも続くようである。(高松市②)

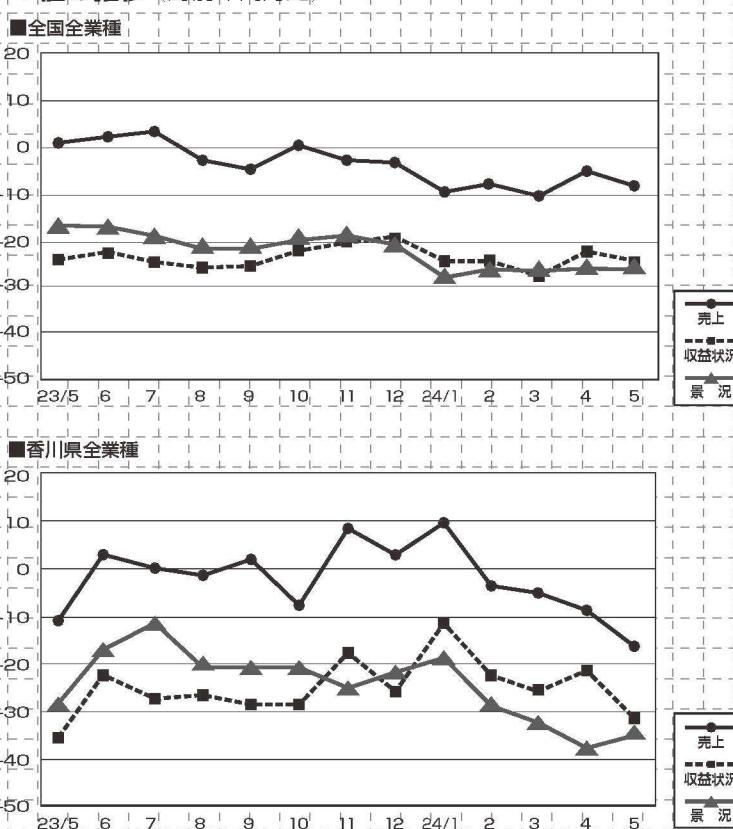
5月の県内景況は、前年同月と比べて売上高DI値は-16.7ポイントで前月調査の-8.3ポイントから8.4ポイントの悪化、収益DI値は-31.3ポイントで前月調査の-20.8ポイントから10.5ポイントの悪化、景況DI値は-35.4ポイントで-37.5ポイントから2.1ポイントの改善となつた。

非製造業	商店街	<ul style="list-style-type: none"> ●水曜日、日曜日の定休がかなり浸透してきており、先月の反動で上げ潮ムードが減退している状況である。少子高齢化の傾向が続いているが、通行量が減少傾向で、どの店舗も苦戦している状況が見受けられる。(丸亀市①) ●GWは天気も良かったが、生活者の日用品・買い物回りの大型店で行っているよう、商店街には無縁のものだと再認識した。5月3日～4日と、「丸亀お城まつり」が開催され、過去最多の約28万7000人(延べ人数)の来訪者があった。商店街も、かなりの人出で賑わったが、物販などの店は好影響は皆無で、飲食店は潤った様子だった。5月は総会の月で、当組合はじめ各組合で2年毎の役員改選がおこなわれたが、どこも「成り手」に苦労しており、この傾向は一層ひどくなると予想する。(丸亀市②) ●趣味について、さらに趣味を益す様な情報発信や、商材を発掘して個店の特異性をそれぞれ發揮し、少しでも遠方のお客様を街に呼び込み、お客様に「得した感」のある共同販売活動をして再来店を促す。街に店を張る者にとってそれが鈍ったら、商店街の意味を持たない。そのベースに立って組合活動や個店経営に必死で取り組んでいる事に間違いないと思う。(観音寺市)
	サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ●自治体依頼の案件や来年開催の万博以降の交通関係案件などが増加している。(情報) ●全国理美容製造者協会が2023年10月サロンユーザー調査「女性版」を発表した。女性の美容室市場規模は推計で約249億円である。最近1年間のサロン利用回数は、23年の平均が4.6回で、50代4.8回、60代5.1回、70代5.4回と、年代が上がるにつれて利用回数が多くなる傾向がみられる。また、サロンで1年間に使った金額は、平均が49,543円で、20代が53,156円、50代が52,175円、30代が50,368円の順で平均より多くなっている。(美容)
	建設業	<ul style="list-style-type: none"> ●業界を広くアピールしていくことは非常に大事だが、その一つとして、香川を盛り上げよう!という趣旨のもと、発行されている「香川人」という地域パンフレットに当会青年部会「KSJ会」が取り上げられる事となった。求人活動は、各社苦労しながら取り組んでいるが、手応えを感じるレベルに至っている企業は握りである。1社1社の努力は大前提であるが、業界として、様々な場面で引き続きアピールしていく。(総合建設)
	運輸業	<ul style="list-style-type: none"> ●令和6年4月の輸送実績は対前年同月比で営業収入104.9%、輸送人員は100.6%と増加した。(タクシー) ●令和6年4月分高速道路通行料金利用額の対前年同月比は2.2%増となり、対前月比では1.7%減となった。また、4月分利用車両数の対前年同月比は2.4%増となった。(トラック) ●公益財団法人日本トラック協会が5月15日に発表のトラック運送業界の景況感(令和6年1月～3月期)によると、業界の景況感は、今期は運賃・料金の水準は改善基調を維持したものの、輸送数量の悪化等により、業界の景況感は△26.0(前回△17.7)と8.3ポイント悪化した。来期の見通しは、輸送数量減少等の見込みを反映して、△30.2(今回△26.0)と4.2ポイント悪化する見込みである。(貨物)

香川県内の業種別DI値の変化(対前年同月比)

	売上高	収益状況	業界の景況
製造業	食料品	☀️	☁️
	繊維工業	☁️	☁️
	木材・木製品	☂️	☂️
	印刷	☂️	☂️
	窯業・土石製品	☂️	☂️
	鉄鋼・金属製品	☂️	☂️
	輸送用機器	☀️	☁️
非製造業	その他	☁️	☂️
	卸売業	☁️	☁️
	小売業	☀️	☁️
	商店街	☂️	☁️
	サービス業	☁️	☂️
	建設業	☁️	☁️
	運輸業	☀️	☂️
その他	その他	☁️	☁️

DI値の推移(対前年同月比)



*集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧になれます。

<http://www.chukai-kagawa.or.jp/>

商工中金だより

お客さまのライフステージごとの経営課題に着目し、特に商工中金として事業性評価能力を向上し、積極的に強化していく3つの分野（カテゴリーS・E・T）を「差別化分野」と位置付けました。お客さまの企業価値向上とともに、商工中金自身の長期的な収益基盤拡大や適切なリスクテイクを通じた持続的成長のため、今後、積極的に対応力向上を図っていく分野です。

Startup (スタートアップ支援)

スタートアップ特有の課題を踏まえた
一気通貫のサポート

- ▶ファイナンスを中心とする適切なリスクテイク
- ▶メザニンファイナンス、外部アライアンスの活用
- ▶ビジネスマッチングを通じたセールスサポートの強化

Esg (サステナブル経営支援)

“SPEED”の視点*を活用した
事業性評価やお客さま支援を推進

- ▶CO2排出量削減コンサルティング等、サービス拡充
- ▶従業員エンゲージメント向上、BCP策定支援等
- ▶中小企業組合、関係会社等との連携

TurnAround (事業再生支援)

専門性向上と対応力の底上げにより、
事業再生のトップブランドを構築

- ▶経営危機の未然防止と危機状態からの脱却支援
- ▶多様なキャリアを持つ専門チームによる高度な支援
- ▶人的資本の充実に向けたサポート強化

*商工中金が独自に定めた、組織・職員のサステナビリティに対する取組みの基本的な視点。
SPEED…Sustainability, Productivity, Empathy, Ecology, Digitalの頭文字

〈お客さまライフステージ〉



本業支援

ビジネスマッチング 海外展開支援 事業承継 M&A 等

金融支援

資金繰り対策融資 セーフティネット機能の発揮 財務構築改革支援
成長投資支援 等

なお、詳細につきましては、商工中金高松支店までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

株式会社商工組合中央金庫

高松支店

〒760-0052 高松市瓦町1-3-8

TEL.087-821-6145

FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に業況悪化を来しているみなさまを対象とした「新型コロナウイルス感染症特別貸付」を取り扱っております。くわしくは、支店の窓口までお問い合わせください。

○新型コロナウイルス感染症特別貸付の概要

ご利用 いただける方	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一時的な業況悪化を来している方であって、次の1から3のいずれかに該当し、かつ中長期的に業況が回復し、発展することが見込まれる方 1.最近1カ月間の売上高または過去6カ月(最近1カ月を含みます。)の平均売上高が前6年のいずれかの年の同期と比較して5%以上減少している方 2.業歴3カ月以上1年1カ月未満の場合等は、最近1カ月間の売上高または過去6カ月(最近1カ月を含みます。)の平均売上高(業歴6カ月未満の場合は、開業から最近1カ月までの平均売上高)が次のいずれかと比較して5%以上減少している方 (1)過去3カ月(最近1カ月を含みます。)の平均売上高 (2)令和元年12月の売上高 (3)令和元年10月から12月の平均売上高 3.債務負担が重くなっている方(注1)		
お使いみち	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う社会的要因等により必要とする設備資金および運転資金		
融資限度額 (いずれも別枠)	国民生活事業	8,000万円	
	中小企業事業	6億円	
ご返済期間 (うち据置期間)	設備資金20年以内(うち据置期間5年以内) 運転資金20年以内(うち据置期間5年以内)		
利率(年) (注2)	国民生活事業	6,000万円以内の部分	融資後3年目まで: 基準利率-0.5% 4年目以降: 基準利率
		6,000万円を超える部分	基準利率
	中小企業事業	4億円以内の部分	融資後3年目まで: 基準利率-0.5% 4年目以降: 基準利率
		4億円を超える部分	基準利率
担保	無担保		

(注1)一定の要件を満たす必要があります。要件の詳細は、お近くの支店にお問い合わせください。

(注2)基準利率は、災害発生時の融資制度に適用される利率(融資期間に応じた所定の利率)が適用されます。主な貸付利率は日本公庫HPをご覧ください。

〈支店窓口〉 株式会社 日本政策金融公庫 高松支店

URL : <http://www.jfc.go.jp>

〒760-0023 高松市寿町2-2-7 いちご高松ビル2・3階

国民生活事業 (2階) Tel.0570-085-298 Fax.087-822-9274

中小企業事業 (3階) Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423

農林水産事業 (3階) Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350

かがわ食品ロス削減協力店／かがわプラスチック・スマートショップ登録店舗を募集しています！！

県では食品ロスの削減、プラスチックごみの削減に取り組む店舗を認定・登録し、その取組内容を県HPや各種イベントで紹介しています。登録店舗を随時募集しておりますので、ぜひご応募ください。

プラスチック・スマートショップ

対象店舗

小売業又はサービス業を営む店舗



▲詳しくは県HPから

認定要件

次の取組項目を1つ以上実践している店舗

- ・プラスチック製品の使用削減
- ・環境にやさしい素材への転換
- ・代替製品の製造、開発、販売
- ・プラスチックのリサイクル
- ・その他の取組み

食品ロス削減協力店

対象店舗

飲食店、宿泊施設及び食料品小売店



▲詳しくは県HPから

認定要件

次の取組項目を1つ以上実践している店舗

- ・食べ残し削減に向けた啓発活動
- ・手付かず食品の削減
- ・小盛メニュー、ばら売り等の導入
- ・食品廃棄物のリサイクル
- ・その他の取組み

応募方法

◆オンライン申請

香川県電子申請・届出システムから申請できます。



▲プラスチック
・スマートショップ

◆申請書で提出

ホームページからダウンロードし、メールまたは郵送、持参によりご提出ください。

特典

認定した店舗には、ステッカーなどを渡します。



お問い合わせ先

香川県 環境森林部 循環型社会推進課

Mail : junkan@pref.kagawa.lg.jp

TEL : 087-832-3225

歩行者ファーストかがわ2024参加者募集！

横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる時は、車両は横断歩道の手前で一時停止して歩行者の通行を妨げてはならないと道路交通法に定められています。しかし、2023年のJAFの調査では香川県の車両一時停止率は、39.1%で全国ワースト16位です。この現状を踏まえ、「歩行者ファーストかがわ2024」を実施し、横断歩道での歩行者優先ルールの遵守を取り組みます。

ぜひ、3人1組のチームで参加し、チーム全員が率先して「横断歩道は歩行者優先」のルールを遵守してください。実施期間中に無事故・無違反を達成されたチームの中から抽選で**30万円分の旅行券**などが当たります。

・募集期間／7月1日～8月30日

・実施期間／9月1日～12月31日

・参加費／1チーム3,000円

・啓発グッズ／マイクロファイバークロス(参加者に配布)

問い合わせ先 県くらし安全安心課 TEL:087-832-3231

香川県 歩行者ファーストかがわ 検索

Book RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社／定価
1	クスノキの女神	東野圭吾	実業之日本社／1,980円
2	成瀬は天下を取りにいく	宮島未奈	新潮社／1,705円
3	頂を目指して	石川祐希	徳間書店／1,870円
4	心に効く美容	MEGUMI	講談社／1,650円
5	変な家2～11の間取り図～	雨穴	飛鳥新社／1,650円

香川県書店商業組合調べ